

マダニが危険！

注意



マダニは**感染症**を運びます

温かくなるとマダニは活発になります。マダニに刺されると**重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)**にかかる場合があります。

症状は熱、嘔吐、下痢、出血傾向、腎障害、意識障害などです。**マダニに刺されないことが最大の予防となります！**

マダニが多く生息する場所（野生動物が出現する環境、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道）へ行くときの注意

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

明るい色の服はマダニが確認しやすいです。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。

半ズボンやサンダル履きは不適当です！

ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

マダニに対する虫よけスプレー(ディート・イカリジンが有効成分)もあるため、畑仕事や草むしり、草むらや藪などに入る場合は使用しましょう。
(マダニ対策 今できること(国立健康危機管理研究機構 HPより抜粋))

SFTSについて
(神奈川県 健康危機・感染症対策課) →



マダニに刺された後に**症状**が出現した場合には**速やかに医療機関を受診を！**

マダニが媒介するSFTSウイルスはペットにも人にも感染します。(人獣共通感染症)。

ペットとSFTS
(神奈川県生活衛生課)



これも見てニャー

